



**入賞** **「望洋の碑と天の川」**  
 内海大輔さん(釧路町)

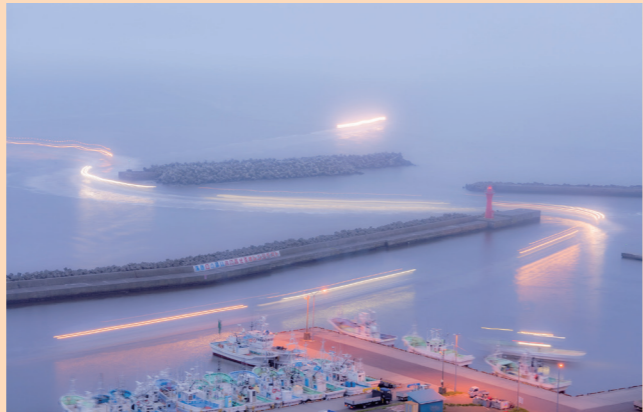
**講評** 望洋の碑をあえて画面の左に側に寄せて、天の川を右上に配置しており、よく考えて撮影されています。望洋の碑の先端が光り輝いていて、何か宇宙空間の一部のような感じがします。壮大なスケールを感じる作品です。



**特別賞** **「漁師の朝」**

村上 勝さん(釧路市)

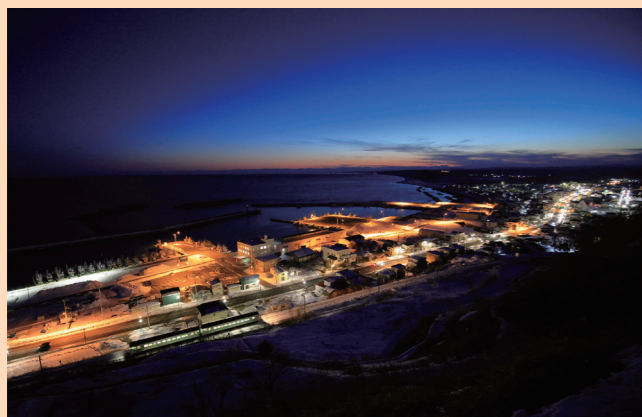
**講評** 早朝の港を行き交う様子をスローシャッターを使って光線として表現されている作品です。全体にガスがかかって柔らかいトーンになっており、優しく雰囲気のある作品に仕上がっています。



**入賞** **「夕暮れ」**

登坂直紀さん(中川町)

**講評** 日没後のマジックアワー（ブルーアワー）を狙った作品だと思います。街の灯りとブルーの空の対比がきれいで、ちょっとブレた普通列車の存在がとってもいいアクセントになっています。旅情感のある作品です。



**入賞** **「大漁を目指して」**

佐々木せつ子さん(釧路町)

**講評** 大胆な日の丸構図ですが、潔くて良いですね。鳥が太陽の上に来るタイミングで写したと思いますが、船が若干左側にいることによって、ものすごくバランスのいい構図になっています。力強さが伝わってくる作品です。



**入賞** **「漁船とカモメ達」**

藤原章雄さん(白糠町)

**講評** 大漁なのか船が傾きながら漁をしており、その魚を目当てにたくさんのカモメが群がる様子がよく捉えられている作品です。あえて空を大きく広く撮り、船も黄金比に配置されていて、構図的にも見本となる作品です。



**入賞** **「恋問海岸」**

荒川恵美子さん(富良野市)

**講評** 恋問海岸にある流木をオブジェ風にした作品ですが、流木に寄るのではなく風景の一部として捉え、空と海、流木とのバランスがよく考えられています。海面にちょっとだけ出ている流木の画面配置がいいですね。



しらぬかフォトコンテスト「一般部門」「ふるさと納税部門」ともに8作品が受賞

しらぬか  
 フォト  
 コンテスト



「一般部門」はInstagramの応募を含め500作品以上、「ふるさと納税部門」には64作品の応募がありました。たくさんの応募ありがとうございました！今月号では入賞作品を紹介します。

審査員 大滝恭昌さん

おおたき・やすよし 1964年、釧路市生まれ。foto-f8代表。広告写真全般の撮影のほか、道立近代美術館などの収蔵作品や展覧会図録の撮影を手がけている。2019年サッポロスマイル100フォトコンテスト審査員。公益社団法人日本広告写真家協会理事。

フォトコンテストの作品選抜展開催

3月1日(火)～13日(日)までの間、白糠振興センター（東1条南2丁目1-24、☎01547-2-5556）内のコミュニティホールにて、フォトコンテストの作品約100点の選抜展を開催します。展示の時間は9時から17時まで。時間のあるときにゆっくりとお楽しみいただければ幸いです。ぜひこの機会に商店街まで足を運んでみてはいかがでしょうか。

※駐車場は役場の東側駐車場をご利用ください。



**最優秀賞** **「けあらしのシシャモ漁」**

早坂政司さん(白糠町)



**講評**

寒い冬の朝、けあらしの中での漁を捉えた作品ですが、太陽と船のバランスが絶妙で、特に左奥の船の微妙な存在がいいですね。けあらしによって太陽の光が和らぎ、印象的な雰囲気になっており、寒さと力強さが表現されている作品です。寒さも吹き飛ばくらい色もきれいで、普段から写真に真摯に向き合っていることがくみ取れる一枚です。



**優秀賞** **「sunset memory」**

内藤佐恵子さん(釧路市)

**講評**

恋問海岸の夕日を捉えた作品だと思いますが、太陽が沈む瞬間を狙い、左側の人物と木をシルエットにして存在感を少しおさえる露出にしています。それがすばらしいですし、空と海とのバランスもよく考えて切り取っているすごく良い作品です。これ以上太陽が沈んでしまうと太陽が雲に隠れて暗い作品になってしまうので、タイミング的にも最高の時間帯で撮影されています。普段からよくいろいろなものを見ていらっしゃる方が撮影されているのだと思います。

